

# 令和4年度（2022年度）当初予算編成方針について

現在が大きな転換期にあるとの認識の下、基本構想で掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現を目指していく必要がある。そのため、令和4年度当初予算については、以下の基本的な方向性により編成を行う。

## 【基本的な方向性】

### ➤ 新型コロナウイルス感染症への対応

※以下、新型コロナウイルス感染症は「感染症」と呼称

国の予算編成や感染の状況等を見極めつつ、適切に所要額を計上  
なお、必要に応じて所要の調整を実施

### ➤ 「健康しが」実現のため、新たな課題に機動的かつ柔軟に対応する施策構築

令和3年度も感染拡大が収まらない中で、コロナ禍で深刻化したメンタルヘルスの問題や出生数の減少への対応、打撃を受けた地域経済の復興など、様々な面において損なわれた本県の「健康」の回復が必要

➔4つの柱とそれを貫くテーマに基づいた施策を構築し、本当の意味での「健康しが」をつくる

#### 4 つ の 柱

- |             |   |
|-------------|---|
| ①こころの健康     | ➔すべての県民が自分らしくこころも体も健やかな生活を送ることができる      |
| ②次世代・子ども政策  | ➔子どもたちが変化・未知の時代をたくましく、しなやかに生きていく力を身に付ける |
| ③活力ある滋賀づくり  | ➔新しい時代に選ばれる滋賀を目指す                       |
| ④グリーン社会への挑戦 | ➔気候変動、自然災害や生態系への影響への対応                  |

【4つの柱を貫くテーマ】 ひとづくり DXの推進 より良き自治の実現

★デジタルを活用した「届ける」を意識【3（作る）：6（届ける）：1（測る）】

### ➤ 財政健全化の推進

行政経営方針2019に基づき実施している収支改善の取組の継続に加え、県財政の持続性・安定性の確保のため、効果性・効率性を追求し、効果を高めることで、限られた財源の中でも持続可能な財政運営を確保

## 1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ✓ これまで実施してきた対策等を踏まえて、必要があると見込まれる事業については、当初予算で適切に見積もる。

※ 上記の経費については、部局枠とは別に所要の要求を認める。【感染症対応経費】

【対 象】 感染症対策として喫緊に対応が必要なもの（R3から継続するものを含む。）  
なお、部局枠、重点化特別枠等で実施してきた事業を組み替えて計上するものや、通常事業として実施することが妥当であるものについては対象としない。  
【留意点】 国の来年度予算や感染状況等を踏まえ、調整を行う。

- ✓ 感染状況等、直近の情勢を踏まえ、事業内容等を検討する必要がある事業については、その時々状況に応じて機動的かつ適切に対応。

## 2 「健康しが」実現のため、新たな課題に機動的かつ柔軟に対応する施策構築

- ✓ 感染症を機に世界は大きく、急速なスピードで変化しているところであり、このような大きな転換期にある中で、新たに顕在化した課題や社会の流れに機動的かつ柔軟に対応していく必要がある。
- ✓ そのため、以下に示す「4つの柱」と「4つの柱を貫くテーマ」に基づいて施策を構築し、「人」「社会」「自然」すべての面において充足した本当の意味での「健康しが」をつくり、基本構想で掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現を目指していく。

※ 施策検討にあたっては、EBPMに基づく政策立案、SDGsの達成に向けた施策推進、多様な主体との協働の視点に加え、「3(作る):6(届ける):1(測る)」を踏まえた、デジタルを活用した「届ける」という視点を意識すること。

柱		施策展開の方向性
人の健康	① 心の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍におけるメンタルヘルスのケア</li> <li>・地域、コミュニティとの繋がり確保</li> <li>・文化や芸術、スポーツ、自然環境に触れる機会の確保・拡充</li> <li>・医療、保健システムの強化</li> </ul>
	② 次世代・子ども政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが生まれる前から生まれた後も切れ目なくケアを行うための環境整備</li> <li>・困難な環境にある子ども、若者、女性への支援強化</li> <li>・すべての子どもたちの生きる力の育成</li> </ul>
社会の健康	③ 活力ある滋賀づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀への移住、定住の促進や関係人口の創出、拡大</li> <li>・滋賀の強みを生かしたツーリズムや食の展開</li> <li>・滋賀の経済をけん引していく産業の創出、強化</li> <li>・人々の移動と交流を支える地域公共交通の維持、強化</li> <li>・安全で安心な暮らしの実現</li> </ul>
自然の健康	④ グリーン社会への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現</li> <li>・地域循環型社会の構築</li> <li>・MLGsの実践を通じた琵琶湖や河川の保全、自然豊かな農山村や森林の再生</li> <li>・生物多様性の保全・継承</li> </ul>

【4つの柱を貫くテーマ】

- ・社会の最大の資源である「ひと」の力を引き出すための「ひとづくり」
- ・地域や産業の持続可能な発展と県民の暮らしをより豊かにするための「DXの推進」
- ・地方自治の原点に立ち返り、県民の想いに応える「より良き自治の実現」

### 3 財政健全化の推進

- ✓ 感染症対策の事務・事業も含め、効果性・効率性を追求することで、限られた人材や財源の中でも持続可能な財政運営を確保
- ✓ 大規模事業については、既に着手済みのもので、および取組が具体化しているもので知事との協議を了し、事業実施の方針が決定されたものに限る。
- ✓ 職員給与費、扶助費について、見積内容の精査のため、事前の調整を実施